

INJEX50とシリジェットとの比較

	形状	衛生面	コスト	使い勝手
INEX 50 PLUS	<p>小さい、手に納まるサイズ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 麻酔薬を注入するアダプターが1回使用毎に使い捨てであり衛生的 ● 先端につけるシリトップは患者毎に取り外し、オートクレーブにて完全滅菌が可能であり衛生的 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1回使用毎に100円程度の追加コストが発生 <p>本体価格：～158,000円（希望小売価格） アンプル：100円（使い捨て） アダプター、シリトップ：200円（繰り返し使用可）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 麻酔液カートリッジからアンプルに移し替える必要がある。注射の前にリセットボックスにてバネをリセットする必要がある。 ● 注射後はアンプルを廃棄するだけで特段の後処理は不要
シリジェット	<p>大きく、鉄製のためかなり重い</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者への使用毎に滅菌処理ができないため衛生面で難あり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 追加コストはかからない <p>価格：20～30万円で販売されていたが、現在は生産中止？で新品は販売されていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 麻酔薬カートリッジをそのまま装填することが可能であるが、麻酔薬注射後、蒸留水で毎回洗浄する必要がある。添付文書に記載の使用注意として下記の記載があり、とても面倒。 <p>（添付文書記載より）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①初めてご使用になる時は、麻酔用カートリッジを本器にセットし、最大0.2mlの液量を4～5回噴射させてから使用すること。（本器内部に残留している蒸留水を除去するため） ②ウォーターカートリッジ（蒸留水）での洗浄後は、麻酔用カートリッジを本器にセットし、最大0.2mlの液量を4～5回噴射させてから使用すること。（本器内部に残留している蒸留水を除去するため） ③使用しない時にも本器に組み込まれているニードル内部の乾燥を防ぐため、必ず空のウォーターカートリッジをセットしておくこと。 ④薬液消毒、乾熱滅菌は絶対に行わないこと。滅菌は、空のウォーターカートリッジをセットし滅菌袋に入れてから高圧蒸気滅菌をすること。乾燥工程は高温になるため中止すること。